

箱根ヶ崎駅西口盆踊り



箱根ヶ崎駅西口盆踊り実行委員会
多武保 理さん・吉野 修さん

イベントに関わったきっかけ、イベントの始まり

この活動の原点は、コロナ禍以前に実施した町内合同の盆踊りにあります。「地域を盛り上げたい」と、町内会長経験者や有志者が事務所に集まり、酒を飲み交わしながら企画を練ったのが始まりです。「1人10万円ずつ出し合おう」という冗談のような提案が、結果として合同開催の資金となり、個人の熱意が組織を動かす原動力となりました。

運営体制

利益を追求せず、補助金を活用して地域住民に還元する「損をしない運営」を徹底しています。これにより、焼きそばなどの屋台も極力抑えた価格で提供しています。実行委員会メンバーがステージ設営を担当したり、かき氷は実行委員会メンバーの知り合いが担うなど、適材適所の役割分担としています。

現在の課題

イベントは回を重ねるごとに熱を帯び、屋台の食べ物や午後6時には完売してしまうほどでした。町内会で食券を配布しましたが、会場に行っても商品がないという苦情など、想定以上の来場者数に対する運営課題もありました。

今後の抱負と新たな取組

近年、近隣住民が互いに「どの誰か」を知る機会が減少していると感じます。この盆踊りを行うことで、老若男女が交流し、顔の見える関係性を再構築する場となることを目指しています。



令和7年9月14日に開催した箱根ヶ崎駅西口盆踊り



令和8年10月3日(土)
に開催予定

コラム

今回の取材で、皆さんからOHAKO BASEを活用して町を盛り上げようとする熱い気持ちが伝わってきました。これからさらに多くの方々にOHAKO BASEを活用していただき、町を盛り上げていただきたいと思います。利用希望者は、瑞穂町観光情報サイトをご覧ください。取材へのご協力ありがとうございました。



瑞穂町観光情報サイト

OHAKO BASE

OHAKO BASEとは箱根ヶ崎駅の西口にある公有地のことです。町ではこの公有地を活用し、地域住民×行政×事業者の協働により、にぎわい創出に向けた暫定的なコミュニティ拠点づくりを行っています。令和5年度のプレイベントを皮切りに、これまで地域住民や事業者が中心となり多彩なイベントが開催されています。令和6年度には暫定インフラとしてOHAKOYAが設置され、OHAKO BASEとともに利用希望者に貸し出しを行っています。今回は、地域を盛り上げるためにOHAKO BASEを活用された方々からお話を伺いました。

OHAKOYA…ウッドデッキを備えた木造の小屋。

みずほまるごとマルシェ



みずほまるごとマルシェ
実行委員会
川辺 美沙さん

イベントに関わったきっかけ、イベントの始まり

当時はコロナ禍だったため、「屋外であれば歌っても大丈夫ではないか」という発想からイベントを企画しました。どうせなら他の方々も巻き込んで盛り上げようとなったことが、「みずほまるごとマルシェ」の原点です。

運営体制

運営は全員がボランティアで行っています。運営メンバーだけでなく、非常に多くの方が「協力したい」と声をかけてくれます。私自身も「大変」ではなく「楽しめている」と感じており、イベントを通じてさまざまな人の得意分野や魅力に気づくきっかけになっています。

現在の課題

資金繰りが厳しく、警備員や駐車場管理スタッフの配置が難しい現状があります。また、前回大盛況となった一方、駐車場が足りなくなるといった問題が発生しました。

今後の抱負と新たな取組

引き続き「みずほまるごとマルシェ」を町の魅力が再発見できる場に育てていきたいです。新たに作曲したマルシェのテーマ曲（みずほまるごとよいところ）で、さらに盛り上げたいです。



令和8年5月24日に開催したみずほまるごとマルシェ